【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和6年11月1日(2024.11.1)

【公開番号】特開2023-122042(P2023-122042A)
【公開日】令和5年9月1日(2023.9.1)
【年通号数】公開公報(特許)2023-165
【出願番号】特願2022-25463(P2022-25463)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ

【手続補正書】
【提出日】令和6年10月24日(2024.10.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御されることを示唆する所定演出を実行可能であり、
前記所定演出は、割れ前兆画像を表示した後に、該割れ前兆画像に対応した破片画像を表示する演出であり、
前記所定演出において前記破片画像が表示された後の背景画像として、第１背景画像と、該第１背景画像よりも前記有利状態に制御される期待度が高いことを示唆する第２背景画像と、を含む複数の背景画像のうちの何れかの背景画像を表示可能であり、
前記所定演出において前記破片画像を表示する前に、複数の態様のオブジェクト画像のうちの何れかの態様の前記オブジェクト画像を表示可能であり、
前記オブジェクト画像の態様に応じて、前記所定演出において前記破片画像が表示された後に何れの背景画像が表示されるかを示唆可能であり、
前記第１所定演出において前記破片画像が表示されるレイヤよりも上位のレイヤに特定画像を表示可能であり、前記特定画像が表示される前期期間では前記破片画像の視認性が低く、前期期間より後の後期期間では、前期期間よりも前記破片画像の視認性が高く、
前記破片画像とは異なる態様の特定破片画像を表示する特定演出をさらに実行可能であり、
前記特定演出を前記有利状態に制御されない場合に実行可能であり、
前記所定演出が実行される場合に、遊技機に設けられる発光手段を第１態様で発光させることが可能であり、
前記特定演出が実行される場合に、前記発光手段を前記第１態様とは異なる第２態様で発光させることが可能である
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０００６】
（α）　可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御されることを示唆する所定演出を実行可能であり、
前記所定演出は、割れ前兆画像を表示した後に、該割れ前兆画像に対応した破片画像を表示する演出であり、
前記所定演出において前記破片画像が表示された後の背景画像として、第１背景画像と、該第１背景画像よりも前記有利状態に制御される期待度が高いことを示唆する第２背景画像と、を含む複数の背景画像のうちの何れかの背景画像を表示可能であり、
前記所定演出において前記破片画像を表示する前に、複数の態様のオブジェクト画像のうちの何れかの態様の前記オブジェクト画像を表示可能であり、
前記オブジェクト画像の態様に応じて、前記所定演出において前記破片画像が表示された後に何れの背景画像が表示されるかを示唆可能であり、
前記第１所定演出において前記破片画像が表示されるレイヤよりも上位のレイヤに特定画像を表示可能であり、前記特定画像が表示される前期期間では前記破片画像の視認性が低く、前期期間より後の後期期間では、前期期間よりも前記破片画像の視認性が高く、
前記破片画像とは異なる態様の特定破片画像を表示する特定演出をさらに実行可能であり、
前記特定演出を前記有利状態に制御されない場合に実行可能であり、
前記所定演出が実行される場合に、遊技機に設けられる発光手段を第１態様で発光させることが可能であり、
前記特定演出が実行される場合に、前記発光手段を前記第１態様とは異なる第２態様で発光させることが可能である
こと特徴としている。